



2007年4月20日

**JASDAQ**  
証券コード：3048

# ビックカメラ



2007年8月期 中間決算説明会資料  
株式会社ビックカメラ

1. 2007年8月期 中間決算概要
2. 2007年8月期 通期見通し
3. 事業の現状と取組み
4. 中長期戦略と方向性

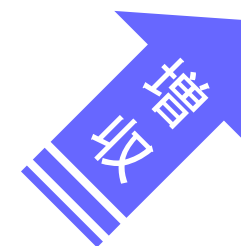
**ビックカメラ**

# 1. 2007年8月期中間決算概要

# 2007年8月期中間決算のポイント

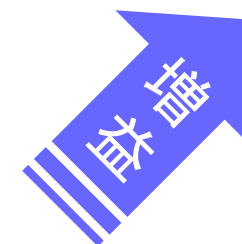
## 売上高

- 新店舗の藤沢店、ラゾーナ川崎店の寄与
- 子会社ソフマップの連結導入効果



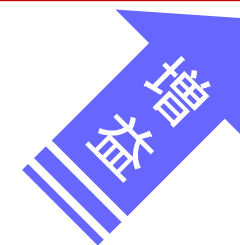
## 営業利益・経常利益

- 広告宣伝費、ポイント販促費等  
経費の効率的・計画的な運用
- ソフマップ等連結子会社の収益改善



## 中間純利益

- 特別損失を計上するも増益



# 2007年8月期中間決算ハイライト(連結)



(単位 百万円)

	2006年8月期中間		2007年8月期中間		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	220,385	—	264,678	—	+20.1%
売上総利益	54,212	24.6%	63,221	23.9%	+16.6%
販売費及び一般管理費	47,773	21.7%	55,272	20.9%	+15.7%
営業利益	6,439	2.9%	7,949	3.0%	+23.4%
営業外収益	1,624	0.7%	1,996	0.8%	+22.9%
営業外費用	1,210	0.5%	1,318	0.5%	+8.9%
経常利益	6,852	3.1%	8,627	3.3%	+25.9%
特別利益	116	0.1%	49	0.0%	△57.5%
特別損失	1,219	0.6%	2,226	0.9%	+82.5%
中間純利益	2,646	1.2%	3,284	1.2%	+24.1%

# 2007年8月期中間決算ハイライト(単体)



(単位 百万円)

	2006年8月期中間		2007年8月期中間		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	213,436	—	218,528	—	+2.4%
売上総利益	51,860	24.3%	52,568	24.1%	+1.4%
販売費及び一般管理費	45,561	21.3%	46,086	21.1%	+1.2%
営業利益	6,298	3.0%	6,482	3.0%	+2.9%
営業外収益	2,510	1.2%	2,008	0.9%	△20.0%
営業外費用	1,444	0.7%	983	0.5%	△31.9%
経常利益	7,365	3.5%	7,508	3.4%	+1.9%
特別利益	53	0.0%	51	0.0%	△5.3%
特別損失	653	0.3%	1,967	0.8%	+201.2%
中間純利益	3,619	1.7%	2,993	1.4%	△17.3%

## 2007年8月期中間〈売上高〉 増減・計画差異要因

**ビックカメラ**

(単位 百万円)

	2006年8月期中間	2007年8月期中間			
	実績	実績	前年同期比	計画差異	計画比
連結	220,385	264,678	+20.1%	△5,022	△1.9%
単体	213,436	218,528	+2.4%	△9,893	△4.3%

### 《連結》

- ソフマップの半期寄与により大幅増収

### 《単体》

- 藤沢店、ラゾーナ川崎店の寄与
- 大画面薄型テレビ、ゲーム関連、高機能高付加価値家電の好調
- 新OSの発売日発表後のパソコン買い控え、  
暖冬による暖房器具の不振

## 2007年8月期中間〈経常利益〉 増減・計画差異要因

**ビックカメラ**

(単位 百万円)

	2006年8月期中間	2007年8月期中間			
	実績	実績	前年同期比	計画差異	計画比
連結	6,852	8,627	+25.9%	+1,227	+16.6%
単体	7,365	7,508	+1.9%	+593	+8.6%

### 《連結》

■ ソフマップ等連結子会社の業績改善

### 《単体》

■ 積極的かつ効率的な経費の計画的運用

◆ 広告宣伝費 売上比1.2% (前期比81.3%)

◆ 販売促進費 売上比0.8% (前期比77.8%)



## 2007年8月期中間〈中間純利益〉 増減・計画差異要因

ビックカメラ

(単位 百万円)

	2006年8月期中間	2007年8月期中間			
	実績	実績	前年同期比	計画差異	計画比
連結	2,646	3,284	+24.1%	△316	△8.8%
単体	3,619	2,993	△17.3%	△534	△15.1%

### 《連結》

- 特別損失を計上するも、ソフマップ等連結子会社の好調な業績により増益

### 《単体》

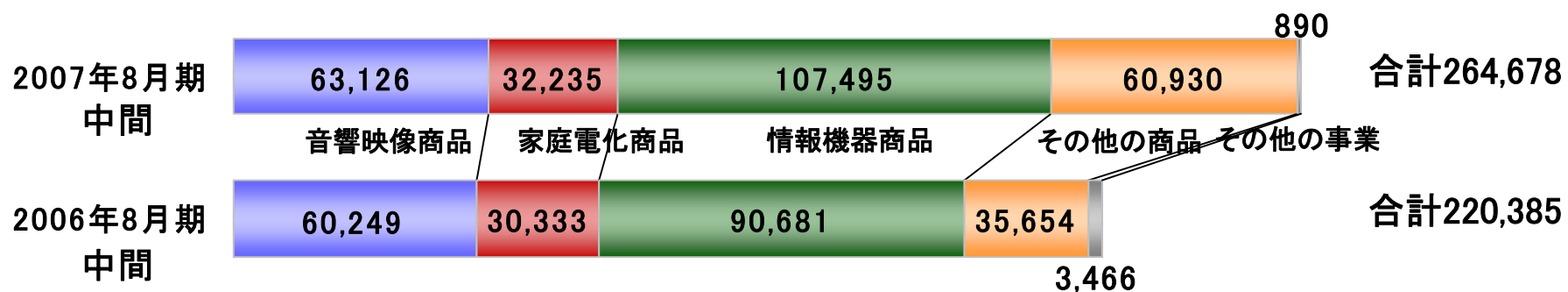
- 減損会計適用による損失を計上
  - ◆ 投資有価証券評価損の発生(1,953百万円)

# 品目別売上高の状況

ビックカメラ

(単位 百万円)

	2006年8月期中間		2007年8月期中間			前年同期比	
	金額	構成比	金額	内ソフマップ <sup>o</sup>	構成比	増減金額	増減比
音響映像商品	60,249	27.3%	63,126	3,752	23.9%	+2,877	+4.8%
家庭電化商品	30,333	13.8%	32,235	—	12.2%	+1,902	+6.3%
情報機器商品	90,681	41.1%	107,495	20,633	40.6%	+16,813	+18.5%
その他の商品	35,654	16.2%	60,930	18,456	23.0%	+25,276	+70.9%
その他の事業	3,466	1.6%	890	—	0.3%	△2,576	△74.3%
合計	220,385	100.0%	264,678	42,842	100.0%	44,293	+20.1%



## 新店舗の状況

- 藤沢店 2006年8月 4日開店
- ラゾーナ川崎店 2006年9月28日開店



- 家庭電化商品の売上構成比増加



## 既存店舗の状況

- パソコン専門店是新OS発売前の買い控えの影響を受け苦戦
- 小型店舗が苦戦したものの、大型店舗は堅調に推移

**ビックカメラ**

**2. 2007年8月期 通期見通し**

## 2007年8月期 通期見通し(連結)



### 当初業績予想を修正

:売上高 前期比+12.0%、経常利益 前期比+23.3%

(単位 百万円)

	2006年8月期		2007年8月期(予想)				
	実績	売上比	当初計画	修正計画	当初計画 差異	売上比	前期比
売上高	480,453	100.0%	548,000	538,000	△10,000	100.0%	+12.0%
経常利益	12,729	2.6%	15,410	15,700	+290	2.9%	+23.3%
当期純利益	6,007	1.3%	7,600	6,800	△800	1.3%	+13.2%

## 2007年8月期 通期見通しのポイント(連結)

### 【売上増強】

- 新店舗売上の通期貢献
  - ◆ 藤沢店(2006年8月開店)、ラゾーナ川崎店(2006年9月開店)
- 上期好調商品(大画面薄型テレビ・ゲーム関連・高機能高付加価値家電)が引き続き好調に推移
- 既存店舗リニューアル
  - ◆ 計画的に実施
- 連結子会社の業績寄与
  - ◆ ソフマップの通期寄与(前期は下期のみ収益貢献)

### 【収益性強化】

- 売上総利益の向上
- 積極的かつ効率的な経費の計画的運用

## 当初計画通り新店出店、 物流センター新設、既存店リニューアルの実施

(単位 百万円)

	2005年8月期	2006年8月期	2007年8月期計画
設 備 通 期	3,684	5,020	10,000 (4,200)
減 価 償 却 費	1,321	1,250	1,376

(注)設備通期欄に記載の2007年8月期計画数値は通期予定であり、下期における設備投資予定額は( )内数であります。

## 2007年8月期下半期主要設備投資項目

- 新規出店: 京都店(8月開店予定)、岡山店(今秋開店予定)、  
ソフマップ秋葉原新本館(9月開店予定)
- インターネット通販: ビックカメラドットコム リニューアル
- 既存店舗改装

## 有利子負債は当初計画通り70億円削減へ

**ビックカメラ**

## 3.事業の現状と取組み



# 新店舗開発の状況

## 2007年8月期

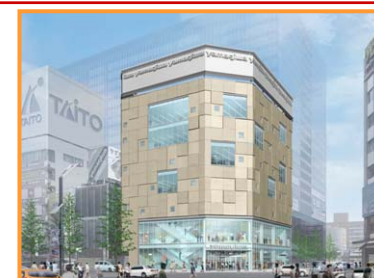
- 2007年8月に京都店(仮称)開店予定
  - ◆ 売場面積 約10,000m<sup>2</sup>
  - ◆ 2007年8月期への影響は限定的



京都店

## 来期以降

- 「都市型」×「駅前」×「大型」の店舗を年間2店舗程度出店を予定
- 2007年9月 ソフマップが秋葉原に新本館(仮称)開店予定(約4,900m<sup>2</sup>)
- 2007年秋 岡山駅前に岡山店(仮称)開店予定(売場面積 約8,200m<sup>2</sup>)
- 2008年3月 新横浜店が新駅ビルに移転予定(売場面積 約2,000m<sup>2</sup>⇒移転後 約7,000m<sup>2</sup>)



ソフマップ秋葉原新本館



新・新横浜店

### 集客力の強化へ計画的なリニューアルを実施

2007年8月期

#### ■店舗改装や、商品構成見直し

- ◆池袋本店の改装
- ◆池袋東口2店舗の取扱商品構成の大幅な変更
- ◆その他店舗も順次実施予定

### 期待される効果

#### ■集客力向上による売上の増強

- ◆店内環境の改善による顧客満足度の向上
- ◆家庭電化商品の売上構成の増加による収益力増強

## 連結子会社化初年度で黒字転換



### 1. 収益体質の改善

当社と同一の仕入商品の原価低減

### 2. 既存店売上高の増加

カメラ・携帯電話・デジタル家電の取扱い拡充

### 3. PC買替え・中古販売の増加

ビックカメラ店舗内での買取センターの開設

### 4. EC事業の強化

白物家電、理美容家電等高粗利商品の取扱開始

### 5. 管理部門の連携強化によるシナジー効果の拡大

今後は管理部門の連携強化による更なる業績の拡大

# 「ビックカメラSuicaカード」の状況

## 顧客囲い込みの効果に期待

ビックポイントカード



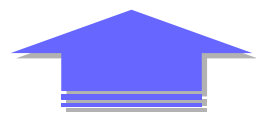
1992年開始  
1,900万件



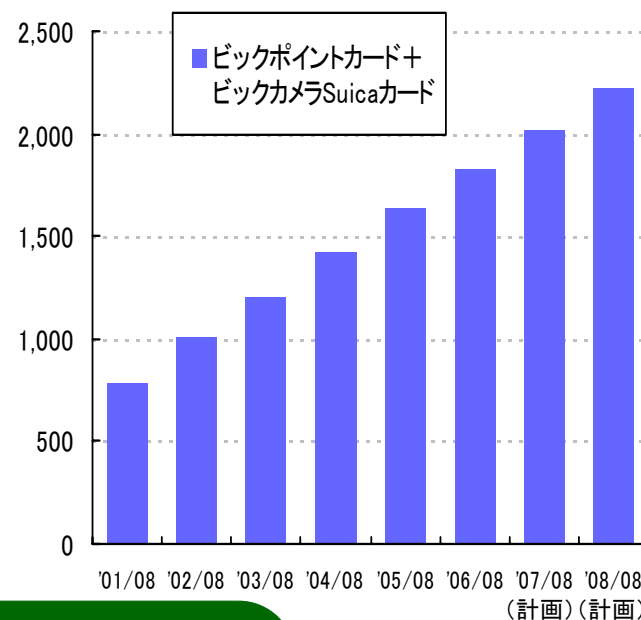
ビックカメラSuicaカード



申込件数: 27万件超



ポイント会員数の推移・計画(単位: 万件)



新規顧客

JR利用者

私鉄・地下鉄・バス利用者  
Suica・PASMO相互利用  
の開始(07年3月18日～)

# 東松山センターへの流通機能の集約

平成18年10月より東松山センター稼動開始

板橋センター

→ 配送機能の一部保持

川口センター

→ 昨年10月に閉鎖

八王子センター

→ 機能に移転後閉鎖

集約



東松山センター

- ◆ 顧客への商品配送機能
- ◆ 一括物流機能
- ◆ 在庫保管機能(一部稼動)

## 今後の効果

- 運営費削減、在庫削減
- 売場面積の増加、リードタイム短縮、CO<sub>2</sub>の削減

**ビックカメラ**

## 4. 中長期戦略の方向性

# 6年連続「活気がある企業No.1」

ビッグカメラ

## 日経「企業イメージ調査」2006年ランキング

「活気がある企業」6年連続第**1**位

### 活気がある企業

[ ビジネスマン調査 ] [ 一般個人調査 ]

**1**位 / 1,178社中      **1**位 / 1,178社中

2位 ヨドバシカメラ  
3位 フジテレビジョン

2位 日本コカ・コーラ  
3位 フジテレビジョン

### 営業・販売力が強い

**1**位 / 1,178社中

2位 キリンビール  
3位 トヨタ自動車

### 自己改革に積極的

**1**位 / 1,178社中

2位 日産自動車  
3位 ヨドバシカメラ

### 企業認知度

**4**位 / 1,178社中

1位 セブン・イレブンジャパン  
2位 日本マクドナルド  
3位 ファミリーマート

# 出店戦略 × 商品戦略（「都市型」の「優位性」を拡大）

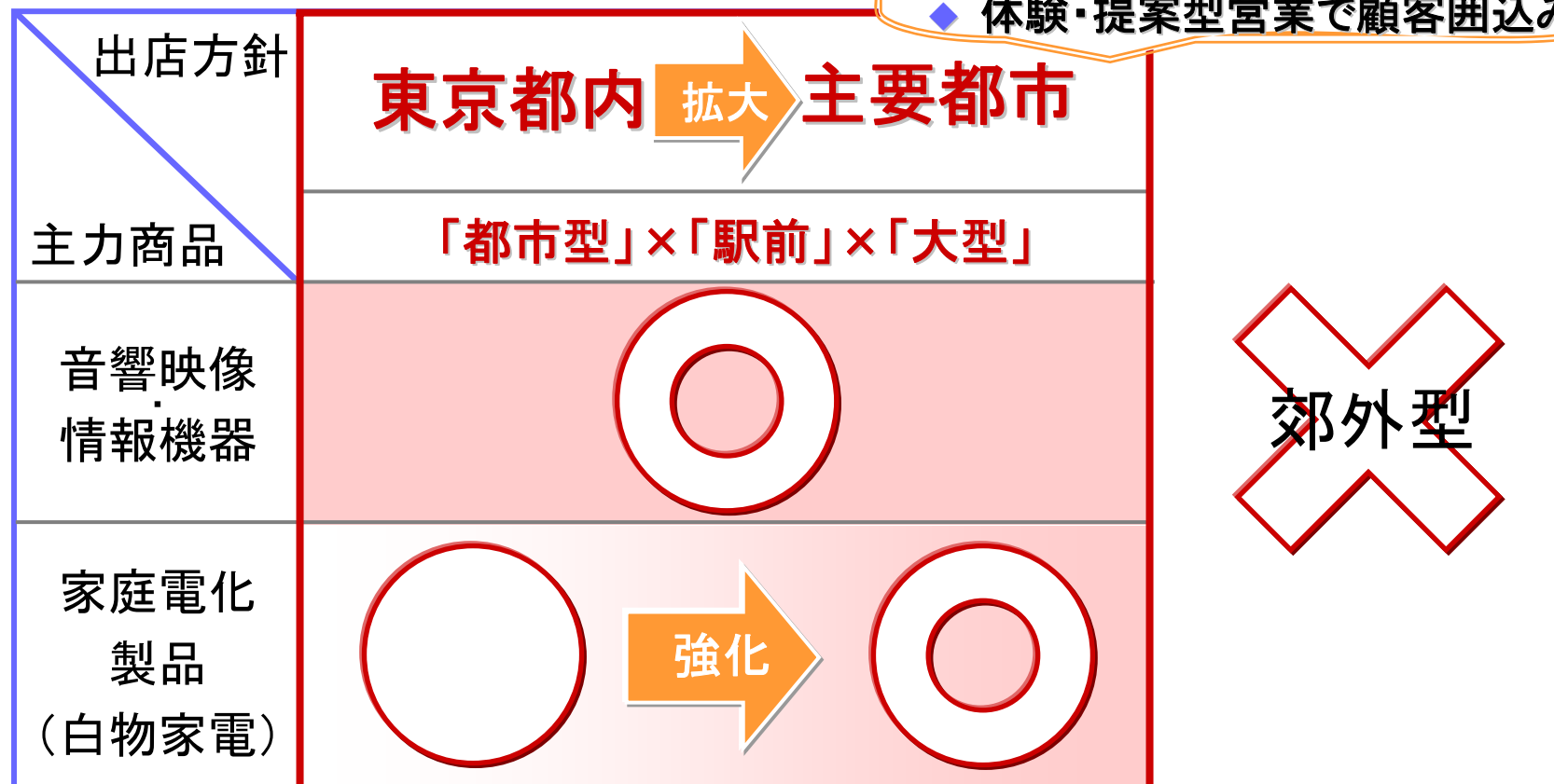
[出店戦略] 主要都市への拡大

[商品戦略] 粗利率の高い白物家電のシェア拡大

家電量販店市場（8～9兆円）

## 当社の優位性

- ◆ 高い効率性
- ◆ 体験・提案型営業で顧客囲込み





## 体験・体感重視の店作り

- キッチンスタジオム
  - ◆ 新商品を使用した料理実演
- 最高級オーディオリスニングルーム

## 各種相談カウンターの実充

- デジタル放送相談カウンター
- PC安心相談カウンター
- まとめ買いカウンター(コンシェルジュの設置)

## アフターサービスの充実

- 保証サービス(修理・盗難・全損)
- PCサポートサービス(カスタマーセンター・出張サービス)

### 両社の強みを活かした相互補完を目的

#### 【具体的実施・検討項目】

- ① 役員の相互派遣
- ② 共同仕入取組商品の開発、展開
- ③ ポイント相互利用や、アフターサービス等の顧客サービス強化
- ④ 物流ネットワークの共通利用による効率化
- ⑤ 魅力ある店作りへの共同取組、ノウハウ共有
- ⑥ 両社の強みを融合した業態開発
- ⑦ 広告宣伝企画の共同取組
- ⑧ 間接財の共同調達

2007年8月期は1株当たり1,000円を予定

## ■配当方針

財務体質の強化と内部留保の充実を考慮し、将来の事業拡大等を総合的に勘案した上で、長期にわたり安定した利益配当を継続する。

## ■配当金予想

	25期 (2005年8月期)	26期 (2006年8月期)	27期 (2007年8月期)
1株当たりの配当金	250円	1,000円	1,000円 (見込)
配当性向(連結)	5.2%	10.7%	11.1% (見込)

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2007年4月20日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2007年4月20日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

## 2007年4月 株式会社ビックカメラ